

受け継ぐ伝統②

伝統 芸能

- Traditional Art -

吉岡町には、古くから伝わる伝統芸能がたくさんあります。伝統芸能は、保存会の人々により大切に守り継がれています。季節のイベントや町民文化祭などで披露され、町の歴史を感じることがができます。

●春祭り 4月に、町内に神社でそれぞれ行われる春祭り。中でも南下下八幡宮・上八幡宮・溝祭三宮神社では、町指定重要無形文化財である獅子舞が奉納され、今年一年の豊作と健康を祈願します。

受け継ぐ伝統①

祭

- Festival -

子どもから大人まで楽しめるふるさと祭りやマルシェなどのイベントや、伝統の年中行事が行われています。地域のふれあいと町の活力を育み、町民たちの交流の場にもなっています。

●ふるさと祭り 町内の各種団体が出店し、町内の子どもや家族などにぎわいます。

新しい郷土芸能



上州吉岡船尾太鼓

平成3年の町制施行と共に誕生し、約30年の歴史があります。メンバーは日々練習に励み、吉岡町の新しい郷土芸能にしたいと頑張っています。大迫力の太鼓の演奏は圧巻です。



三宮神社太々神楽

江戸末期に完成したといわれ、太々神楽三楽譜が継承しています。



大久保屋台囃子

大久保の鎮守三宮神社に屋台とともに奉納する勇壮な囃子です。

どんど焼き

1月の上旬から中旬にかけて各地区で行われます。地区ごとにやぐらや風習が異なり、それぞれに特色があります。



秋には「よしおかふるさと祭り」が盛大に開催されます。会場には町内の各種関係団体のブースが立ち並び、模擬店や体験コーナー、自衛隊、警察、消防などの車両展示も行われるほか、友好都市である北海道大樹町の特産品なども販売されます。子どもから大人まで、みんなが楽しめる催しで、毎年大勢の人が来場します。

古くから伝わる季節の伝統行事も守り継がれています。長松寺境内で毎年1月14日に開かれる「矢落観世音」は別名「ざる観音」の名で親しまれ、さまざまな露天が出る縁日です。船尾山の伝説に由来し、昔はここで養蚕道具を買い求めたといわれています。春には、町内の神社で春祭りが行われます。

住民同士の交流や地域のつながりを深めるイベント

よしおか3大獅子舞

よしおか3大獅子舞は平成15年に町指定重要無形文化財に指定されています。



大藪獅子舞

大永3（1523）年桃井播磨守が守刀とともに八幡神社に奉納したのが始まりと伝えられています。頭が獅子ではなく竜であるのが特徴です。



溝祭三宮神社獅子舞

天正年間からあったと伝えられています。また、雨乞いの獅子舞としても有名です。



下八幡宮獅子舞

慶長年間以前からあったと伝えられており、頭は、桐の巨木の掘りぬきで、開いた口から顔が見える作りが特徴です。

インタビュー



溝祭獅子舞保存会会長
小材さん

溝祭獅子舞は天正年間の約450年前から受け継がれている吉岡町の文化で、現在は4月の春祭りをメインに町内の各イベントに出演しています。獅子舞の頭には鳥の羽が使われることが多いのですが、溝祭では鳥の毛が使われているので頭に重量感があり、踊りもゆったりと優雅であるのが特徴です。口伝で受け継がれているので、すでに絶えてしまった唱歌や舞があるのは残念です。しかし今はDVDに保存したり、簡単に動画を送り

合ったりすることもできるので、今できる方法で溝祭獅子舞が受け継がれていくよう努力しています。日本人がこれまでに受け継いできた唱歌や舞はもっと世界に誇るべきものだと思っているので、時代が流れていく中でも続けていくことが大事だと思っています。



ざる観音の歴史

吉岡町に古くから伝わる「ざる観音」は、船尾山にあった寺院が焼討ちにあった際、僧侶が観音様を結んで矢を放ち、その矢が漆原新田まで飛び、桑を摘んでいた少女のざるの中に入ったという伝承から始まりました。観音様を祀って、江戸時代にお堂が建てられ、「ざる観音」として今日まで祀られています。



しんきちマルシェ

北群馬郡を盛り上げようと、隣接する榛東村と合同でマルシェを開催しています。地域の飲食店の出店や、作品制作の体験プログラムなどがあります。